

温かな春の訪れが感じられる今日の良き日に、広島県立広島叡智学園中学校第1回卒業証書授与式を挙行できますことに、心より感謝いたしますとともに、開催に向けて御尽力いただきました多くの方々に、衷心より厚く御礼申し上げます。

本来であれば、卒業生がお世話になった多くの方々を御来賓としてお招きして、お祝いと励ましのお言葉を頂戴すべきところですが、本日は、代表して、本校PTA会長に御臨席を賜り、御祝辞をいただくこととなりました。壇上からではございますが、厚く御礼申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。先ほどの卒業証書授与において、担任からの呼名に、凜とした返事で応え、自信を持って登壇する姿に、皆さんの確かな成長の証を感じました。本校は、平成31年4月に「世界のどこにいてもよりよい未来を創造できるリーダーを育成する」ことをVisionに掲げ、全寮制の併設型中高一貫教育校として開校しました。この開校と同時に、皆さんは、本校1期生として、希望と期待を胸に入学しました。新設校であるため、この3年間、すべてが挑戦の連続であったと思います。この場所で刻まれたすべての時間が、本校の伝統・文化となり、一人一人が力強く、広島叡智学園中学校に確かな足跡を残してくれたと実感しています。また、皆さんは、県立学校で始めて導入されたIBプログラムを通して、創造的な思考力や目的に向かってやり抜く力、そして、自信を養い、本当に逞しく成長してくれました。

一つの例にはなりますが、1年前には広島叡智学園の新しい校歌・校章を、皆さんのアイデアと行動力で素晴らしいシンボルに仕上げてくださいました。神峰ホールでの披露会では、波をモチーフに表現された本校の3つの建学の精神と未来への希望が込められ、「覚悟が潜んだ姿」を一つの形として表現した校章と、校歌の一節にあるこれから本校で学んだ生徒が、「諸人の待つ未来へ向かって自らの叡智を育んでいく」こと、まさに本校の象徴となるべくシンボルを掲げてくださいました。今後もさらにこのシンボルに磨きをかけてくれることを期待しています。

そして、本年度本格的に動き出した生徒会活動は、「世界で一番輝くわたしたち」をテーマに掲げ、「礎」のスローガンの下、様々な取組を通して、他校の見本ともなるような生徒中心の自治的な文化の土台を、着実に築いてくださいました。こうした日々の生活の中に、皆さんの想いが込められ、主体的に学び続けるラーニング・コミュニティが形成されていることを実感することができる、大変意義深い活動でした。

そして、何よりも親元を離れて初めての寮における共同生活を通して、自律した生活を行うことができる力を身につけるとともに、お互いのことをしっかりと思いやり、全ての生徒が安心・安全な生活を送ることができる文化の形成に、大きく貢献してくださいました。

4月からは、いよいよ高等学校が開校を迎え、皆さんの高校生活が始まります。高等学校では、国籍の異なる留学生等を迎えて、さらに新しい文化が創造されます。1期生として力強く本校の道を切り拓いていくこと、そして、真のラーニング・コミュニティの実現に向けて、挑戦し続ける姿を心から期待しています。

ここで、卒業する皆さんに、幕末から明治時代にかけて活躍した多くの人物に影響を与えた吉田松陰が残した言葉の一つを送ります。

夢なき者に理想なし、  
理想なき者に計画なし、  
計画なき者に実行なし、  
実行なき者に成功なし。  
故に、夢なき者に成功なし。

否定系での語り口調ではありますが、若者の新たな旅立ちを鼓舞する言葉であります。皆さんが、9年間の義務教育を終え、高等学校に進学するにあたり、自分は「何のために学ぶのか」、「何を成し遂げたいのか」を深く探究し、幕末の志士のように志を高く持ち、その達成のために失敗を恐れず全力で努力し、果敢に挑戦してくれることを心から期待しています。

保護者の皆様、本日はお子様の御卒業、誠におめでとうございます。これまでの3年間、本校の教育活動に御理解と御協力を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。子供たちは、1期生として、この3年間、様々な困難を乗り越え、立派に成長してくれました。4月からは新たに高校生活が始まりますが、引きき子供たちを支えていただきますとともに、本校の教育活動へのより一層の御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

最後になりますが、世界情勢に目を向けると、今まさに平和に暮らしている人々の貴重な命が奪われ、大切な家屋が失われ、安全な生活が脅かされています。こうした国際社会の現実の中でも、社会の持続的な平和と発展に向けて、地域や世界の「よりよい未来」の創造を目指して学んできた皆さんが、世界へと続く扉を自らの手で開き、この大崎上島から世界へと、グローバルリーダーとして一層逞しく成長してくれることを心より祈念し、式辞といたします。

令和4年3月12日

広島県立広島叡智学園中学校長

福嶋 一彦